

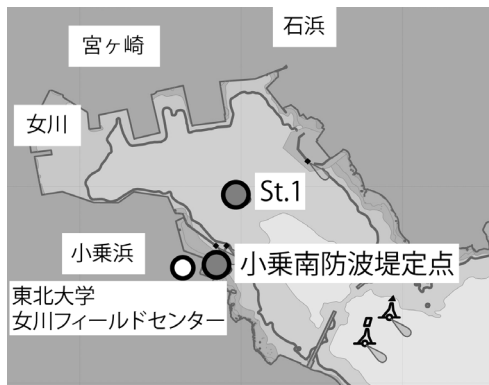
週刊 女川湾海況速報 (No.66)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

10 月 28 日から 11 月 1 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は表層（0m）で上昇したが、底層（6m）では下降し、塩分については全層で上昇。経時的に水温と塩分はともに全層で 30 日もしくは 31 日まで上昇したあと、1 日に下降。鉛直的には先週に引き続き期間を通じて水温逆転を維持。30 日もしくは 31 日までの水温及び塩分の上昇は外洋水の侵入の影響と推定。水温逆転については海面冷却の影響と推定。

水深 [m]	10月28日 (月)	10月29日 (火)	10月30日 (水)	10月31日 (木)	11月1日 (金)
0	16.4 (31.0)	17.2 (30.8)	18.0 (31.0)	18.0 (33.0)	17.5 (32.7)
6	17.3 (32.2)	18.0 (32.9)	18.2 (33.1)	18.2 (33.4)	18.1 (33.2)

水温の単位は℃。*1 日は水深 4m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には全層で 29 日と 31 日に上昇。鉛直的に底層は表層と比べて高く、30 日以外は 1FTU 以上を示した。（単位は FTU）

水深 [m]	10月28日 (月)	10月29日 (火)	10月30日 (水)	10月31日 (木)	11月1日 (金)
0	0.7	0.9	0.6	0.7	0.6
6	1.0	1.9	0.7	1.9	1.0

③溶存酸素：先週と比較して全層でやや下降したが、6~8mg/l 台を維持。経時的に表層では 29 日に上昇したあと 31 日まで下降。一方、底層では 31 日まで下降傾向。全層で 31 日には 6mg/l 台まで下降。

水深 [m]	10月28日 (月)	10月29日 (火)	10月30日 (水)	10月31日 (木)	11月1日 (金)
0	7.7	8.3	7.7	6.9	7.4
6	7.4	7.1	7.1	6.5	7.0

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 17.5~18.2℃、30.8~33.5 の範囲にあった。濁度は 1.1~2.3FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 6.4~8.2mg/l の範囲にあり、水深 10m 付近で最小。先週と比較して、表層及び底層付近で酸素飽和度が上昇し、底層では 87%まで回復。

10 月 29 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	17.5	30.8	1.1	8.2
5	17.9	32.5	1.3	7.2
10	18.2	33.4	1.2	6.4
15	18.1	33.5	1.5	6.6
19	18.1	33.5	2.3	6.7

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。